

久米小だより

だい 4 号

5月・6月の子どもたちの学習の様子

かわぐちもと おん
川口素生さん(5年)

5月13日(水)伊賀市役所人権政策課の川口素生さんに来ていただき、だれもが自分らしく
幸 せに生きるためにどうすればいいか、ご自分の経験をもとに話していただきました。また、
「一人残らず全員が安心できるクラスになっているか。」「まちがえても失敗しても大丈夫と
いう関係…そんなクラスにしてほしい。」「本当の自分を出せるような空気を作ってほしい」
と話をしてくださいました。子どもたちは「人の話を聴くって大事だと思った。」「振り返っ
たら、今までに決めつけていたことがあった。」など、感じた
ことや思ったことを伝えることができました。

かわぐちもと おん
川口素生さん(6年)

将来の夢や目標を考えていくなかで、その夢に近づく
ために「自分はどんな人になりたいのか」ということを考えて
いきました。そこで、6月9日(火)に川口素生さんに来ていただき、なりたい自分に近づく
ためにどうしたらいいのか、話を聴かせていただきました。「一人ひとりがものすごく大事な
存在であり、人として認め合うことが大切」「自分を振り返ることで自分が変わることができ、
周りに認められたり、周りに信用してもらえたりする」という話をしていただきました。子
どもたちは、「一度傷ついた心は戻らないから、悪口や嫌味を言わないような人になりたい。」「
川口さんみたいに自分を振り返って、自分のよくないところに気づいて変えられる人になりた
い。」などと振り返りました。

まつむらもと き おん
松村元樹さん(6年)

6月19日(金)反差別人権研究所みえ
の松村元樹さんに来ていただきました。

だれもが安心して過ごせる学級にしていくために、松村さんの
経験をもとに「思い込みや決めつけをしていないか」「上下関係
をつくっていないか」「人によって態度を変えていないか」「本当
の自分を出せているか」ということを話していただきました。そ

の後、グループでの話し合いでは、「どんな人でも心の中では悩んでいるかもしれないから、
決めつけしないで知ろうとすることが大切だと思った。」「みんなが安心して思っていることを
話せるクラスにしていきたい。」などと、考えを出し合いました。



がつなの か か じんけんさんかん じんけんこうえんかい がっきゅうこんだんかい
7月7日(火)人権参観・人権講演会・学級懇談会に

さんか ねが
ご参加よろしくお願ひします！！

こんねんど じんけんこうえんかい ねんせい はなし き こうし かわぐちもとお
今年度の人権講演会は、5・6年生もいっしょにお話を聴きます。講師として川口素生さ
んをお迎えします。まえのページでも紹介しましたが、5・6年生は総合的な学習の時間に
かわぐち はなし うかが じぶんじしん み なお こうどう かんが
川口さんのお話を伺い、自分自身を見つめ直したり、これからの行動について考えたりし
ながら学習を深めていきます。また、3年生は2学期に川口さんとの「出会い学習」を予定
しています。

ほごしや みなさま ちいき みなさま こ まな おも
保護者の皆様、地域の皆様も、子どもたちといっしょに学んでいただければうれしく思いま
す。ご参加、よろしくお願ひします。

たま しゅうかく ねん
玉ねぎの収穫(3年)・たくさんとれました！



がつ か きん く め じゅうみんじちきょうぎかい ぶんか きょういくぶかい みな
6月5日(金)、久米住民自治協議会 文化・教育部会の皆さま

きょうりよく ねんせい
にご協力いただき、3年生がたく
さんの玉ねぎを収穫しました。
はたけ がっこう
畑や学校には「いっぱいとれ
た」「すごい」など、子どもたちの
よろこ へび わた
喜びの声が響き渡りました。
げこうじ わ たま
下校時には、みんなで分けた玉



えがお たいせつ も かえ すがた み
ねぎを笑顔で大切そうに持ち帰る姿が見られました。

う つ ひび かんり まいとし しえん ほんどう
植え付けから日々の管理まで、毎年ご支援いただき、本当に
ありがとうございます。

せいそう しごと ねん
清掃の仕事(4年)

がつ にち きん かた こ
6月12日(金)、ビルドコーポレーションの方にお越しいただ
き、パッカー車(ごみ収集車)を見せていただいたり、お仕事

についてお話を聴かせていただいたりしました。子どもたちは、目の前でごみ収集車が動
ようす けんがく さぎょうちゅう あんぜん まも きんきゅうていし
く様子を見学したり、作業中の安全を守るための「緊急停止ボタン」がどこに付いているの
かを教えていただいたりと、興味津々の様子でした。



その後は、職員の方に子どもたちからの質問にも丁寧に答え
ていただきました。1日に集められるごみの量、収集作業中
の気持ちや工夫などを聞く中で、子どもたちは自分たちの生活を
ふ かえ お ひろ
振り返りながら、「落ちていたゴミを拾っていく」「きっちり
ぶんべつ がくしゅう ふか すがた み
分別したい」と、学習を深める姿が見られました。

